



TREND

楽しい楽しい夏、いかにお過ごしですか？
あいかわらず、アセモ・トビヒ・かぶれ
などの皮膚トラブル、アデノウィルス、
ヘルペス、手足口病などの
夏風邪が多いですよ。

おの小児科 院長 小野 英一 先生

おの先生の ブレイクタイム

～タイでのおもいで～
(全3話)



Rangさん(右端)と子供たち、
20年以上前に知り合いました



「来年タイに来たら私の家に泊まりなさい、そうタイ語でRANGさんに言われました。前回のコラムの最後のタイ語の意味です。とても嬉しかった反面、姉妹間の確執も垣間見た瞬間でした。長女のKIMさんは感覚は日本人、金銭感覚も日本人になっていて、中身は日本人の観光客みたいだと思ふ場面が多々ありました。それは在日なので当たり前なんですけど、それを妹のRANGさんは良く思ってたのか？あまりタイの本当の生活などを知らない私に、変に裕福なタイ人を見せたくなかったのか、何回も「KIM姉さんより私に書いて来なさい！」と言われた事を最近の様に思い出します。もう20年以上も前の事ですけど、あの頃は本当に色々私に入れ知恵をしてくれたRANGさん、きっと正義感が強く必死だったんだよね。そんなこんなで私は彼女の家があるタイ陸軍の施設に出入りする様になり、自然とKIMさんと距離が出来、遂には連絡が取れなくなり、タイ人あるあるではあるけれど、タイのリピーターになったきっかけのKIMさんと音信不通になった事は実は今でも気にしています。きっと、近いうちに会える予感はあるのだけれど、だってRANGさんの子供らはKIMさんの連絡先を知っているけれど、小野には教えるなっていうレベルだから。そんなこんなで私はRANGさんご一家、正確には旦那さんはTOTOさんなので、TOTOさんご一家を迎え入れられ、その後は観光という観光はせ

Rangさんらとタイスキ、
大学生の頃



ず、彼らの家の二階で寝泊まりしていました。それ以来、バンコク以外に出る事も少なくなり、シーロムという場所のタイ語教室とローカル市場や屋台、今も大好きなマープンクローンセンター通称、MBKくらいが行動範囲、夜は彼らやその仲間と屋外で夕食そしてミニ宴会、そんな毎日でした。こんなタイでの普通の生活に触れる事が当時の自分にとって一番楽しかった事でした。大学生のときある同期に、「毎回タイばかり行っても世界観変わらないよ、なんて偉そうな口調で馬鹿にされたものでした。が、インドやネパール、パキスタンなど色々な国を旅したからと言って、世界観が変わるわけでもなく、変わると錯覚するだけだと自分は思っていたので、ずっとタイバンコクに行き続けたし、それは正解だったと今思います。タイに行くためにバイトをし、部活以外で暇な週末はタイに弾丸旅行、そんな感じだったな。懐かしい反面、大学時代は浮きに浮いていて、今は2、3人とし交流はありません。普通でない代償でしょうけれど、全く後悔していないし、逆に医学部の大学生活に染まらず良かったと思っています。その後、卒業し研修医を経て結婚、そして子供が出来るなどの環境が変わると、当たり前ですが、彼らと会う回数も減りました。実は今まで、何回もタイ現地で医者をする方法を模索したけれど、私の能力では難しく、今、こうして日本で仕事をしながらタイの仲間を想う日々です。そういう意味では嫌々タイに赴任するだけの駐在員や

今は中学三年生の
長女とRangさんと私、空港にて



皆さんも、各自の生活を楽しみ、最高のものにしてくださいね。その手法は人それぞれですし、感じ方も人それぞれです。
今回は私のタイとのつながりを書きました。参考にはならないだろうけれど、そんな小児科医が伊丹市に居ると覚えていてくれたら嬉しいです。

つづく

この続きは9月8日発行の
まふたん10月号で！

おの小児科

(代表)

☎072-773-6125

伊丹市野間3丁目1-21
(伊丹野間郵便局の南隣)

無料駐車場 22台完備



おの小児科

検索

ホームページには
この他のコラムも掲載中♪